

南部浄化センター第2期事業の 汚水処理施設が完成します

<事業概要>

南部浄化センターは、平成8年に供用を開始して以降、日当たり約6.5万m³の汚水処理能力を有しています。

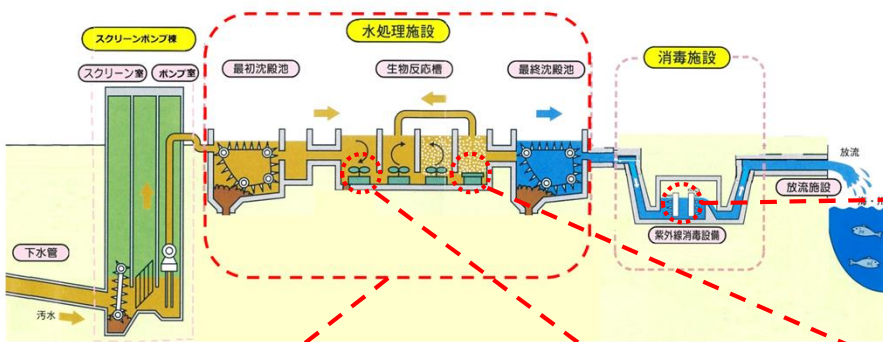
関連3市(四日市市、鈴鹿市、亀山市)では、公共下水道の整備が進められ、下水道普及が進んでいます。

関連3市の下水道整備に伴い流入する汚水量の増加に対応するため、県では、平成26年度から第2期事業として四日市市楠町吉崎地先の海上部に敷地を造成し、新たな汚水処理施設の整備を進めてきました。

この度、日当たり約1.2万m³の処理能力を有する新たな汚水処理施設が令和7年3月31日に完成します。

<南部浄化センター第2期事業の特徴>

【汚水処理施設のしくみ】



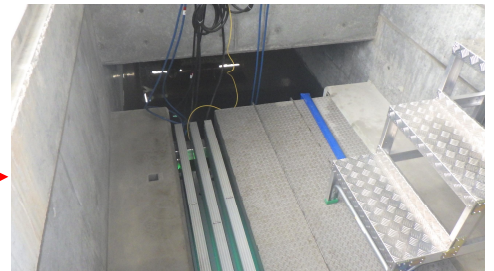
令和7年3月21日
三重県北勢流域下水道事務所



南部浄化センターの全景



消毒施設



紫外線消毒により
環境に配慮

水処理施設の全景



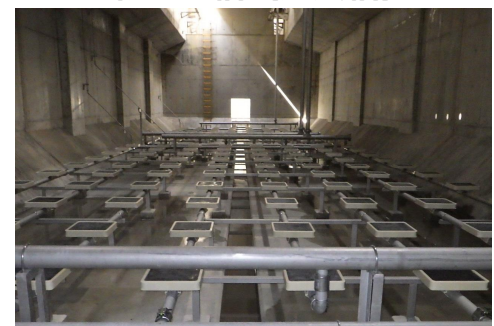
長さ 約333m
県内最大規模

生物反応槽 (嫌気槽)



小型化された攪拌機により維持管理を省力化

生物反応槽 (好気槽)



小さい気泡を作るメンブレン式散気装置により電力の省エネ化